

第60回 ネットパソコンと仮想ドライブ

最近では気軽にパソコンを持ち出すようになりました。超小型パソコン「工人舎のSA5SX12A」を使い始めたからです。この、ネットブックパソコンとよばれるカテゴリーのパソコンは値段が急速に安くなり、また、仕様も格段に上がってきました。上記のパソコンは昨年の2月はじめに購入したもので、メモリ増設などを加えると7万円！もしました。しかし今ではメモリ1GB、ハードディスク160GB、WindowsXPのモデルが4万円で購入できます。買うタイミングを誤ったと反省しているところです。ネットブックの情報はあふれるほどありますが、いつも見ている「PCウォッチ」に現在、「[ネットブック特集](#)」が掲載されているので、参照ください。

話は変わりますが、私は日本経済新聞社から発行されているナショナルジオグラフィック誌（英語版はNational Geographic 誌）が好きです。また、古書店に行くたびに、英語版 National Geographic 誌のバックナンバーを購入します。値段は105円なので気楽な買い物です。しかし、ときには日本語版も購入します。先日、書店で最新刊（2009年1月号）を見ていたら、図1のように、「[ナショナルジオグラフィック 120年の軌跡](#)」と題する特集が組まれていました。数ヶ月待てば105円で買えるのに最新号は980円、しかし、これは本欄のネタにも使えると思い、ただちに購入しました。同誌のホームページによれば、米国ワシントンDCにあるナショナルジオグラフィック協会は、『地球上の「冒険」と「発見」を支え、全世界に伝えてきたナショナルジオグラフィック協会。「地理知識の普及と増進」を目的に、1888年1月、初代会長を努めたガーディナー・グリーン・ハーバードや電話を発明した科学者グラハム・ベルなど有識者33名によって設立された世界有数の非営利団体です』と紹介されています。協会の目的にそって、当初から雑誌が発刊され、1888年が創刊の年、そして2008年が120周年にあたるということで特集が組まれたのでした。



図1

特集記事では120年の歩みを、千数百冊の既刊号（120年にわたる月刊誌は、のべ1,400冊以上になる）から、「心に残る出来事と協会の歴史」の記事などを選び出して紹介する折込みがついており、興味深い特集となっています。関連して、「本誌の歴史に足跡を残した日本人」のページもあり、そこには「日本人の作品としてはじめて表紙を飾った動物写真家岩合光昭」（1994年12月号）、「史上初の単独北極点到達に成功した植村直己」が表紙を飾った1978年9月号などが紹介されています。

折込みは、図2のように、120年間の時間軸の上にさまざまな出来事が、雑誌の表紙や写真そして簡単な紹介記事を配置するという形で紹介されており、拡げてみると「こんなことがあったのだな！」と、あらためて歴史の流れを感じさせられます。山の好きな私にとって、たとえば、「エベレスト初登頂」（1954年7月号）や「創刊100周年を迎えて記念に発行さ

ナショナルジオグラフィック誌120周年記念号の折込ページ(一部)



図2

れたエベレストの詳細地図」(1988年1月号)そして「カナディアン・ロッキーのパノラマ。2.4mという雑誌の折込みページとしては史上最長」(1911年6月号)などが、すぐにでも実際の号を見てみたい思いを抱かせます。

じつは、この120年を超える歴史を誇るナショナルジオグラフィック誌のほとんど(具体的には創刊号から2000年12月号までのすべてのページ)をパソコン画面上で参照することができるのです。それは、サンフランシスコのパソコンショップで購入したCD-ROM32枚組の「National Geographic 112 Years」のおかげで価格はなんと、図3のように、わずか50ドルでした。信じられないほどの価格ですが、それによって上記の最新号の特集記事も、そこで紹介された号のほとんどについて、実際のページをパソコン画面上で楽しむことができるのです。このNational Geographic 誌を超小型パソコンの画面上で読むことができれば、どこでも楽しめるのに、と思いました。もちろん、超小型パソコンなので、ディスクドライブを備えていません。そうしたときに、「DAEMON Tools」というフリーソフトに出会いました。このソフトによってハードディスク内に仮想ドライブが作られ、ハードディスク内に用意した「イメージ」(CD-ROMやDVD-ROMの内容をそのままイメージとして保存したもの)から、開きたいディスクイメージを選択することで、実際のディスクを挿入したと同じことになるのです。

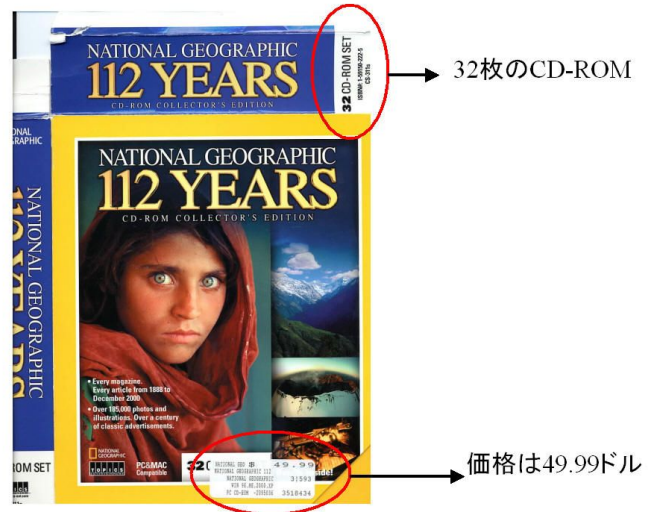


図3

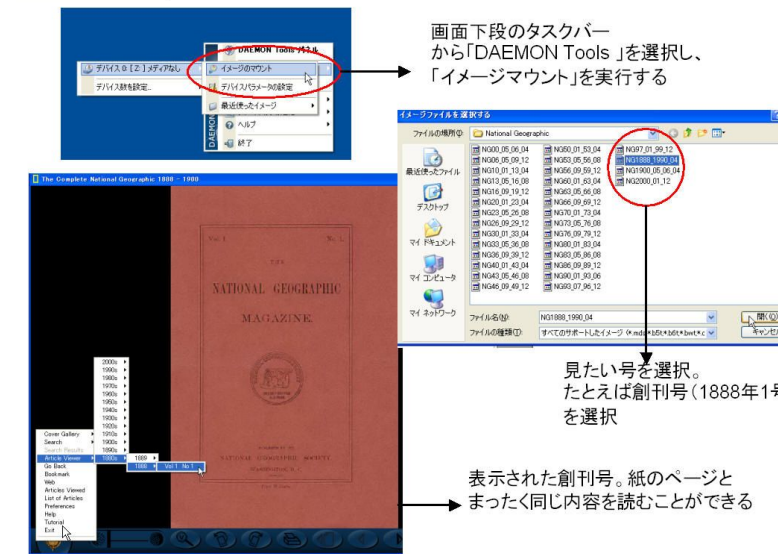


図4

National Geographic 誌の32枚のCD-ROMのイメージを入れ、ディスクドライブがなくとも仮想ドライブからCD-ROMを開くことができるようになりました。図4はNational Geographic 誌創刊号(1888年1号)が収録されているディスクを仮想ドライブに入れ、実際のページを表示して読もうとしていることです。超小型パソコンはどこへでも持ち運べるので、千数百冊の雑誌もまた、どこへでも持ち運べることになりました。時間がいくらあっても、とても読みきるはずがありませんが、検索機能がついているので、120周年記念号の折込で話題になった号を検索して楽しみたいと思っています。

(掲載日：平成21年3月10日)